



## 日本と世界の架け橋に

日本人学校に国際学級を併設する狙いとは。



カンガルーが校庭に現れることも？(今は出ません)

——国際学級は日本人学級と何が違うのですか？

日本人学級は小学校1年生から中学校3年生までの、いわゆる日本人学校で、当校の母体となっています。一方、国際学級はニューサウスウェールズ州のカリキュラムに基づき、全ての授業が英語で行われる、いわば現地校のような存在です。

本校の合言葉は「架け橋」。子どもたちに日本とオーストラリアの、さらには日本と世界との架け橋になってほしいとの願いを込めました。

児童・生徒数は日本人学級が約90人。これに対し国際学級には今やそれを上回る約140人の児童がいます。日本人学級は小学校1～6年と中学1～3年までの計9クラス。国際学級は州の義務教育と同じくキンディ(日本の幼稚園の年長組)から始まり、小学校6年生までの7学年。キンディだけ2クラスで、あとは各学年1クラスの計8クラスです。国際学級と日本



校舎とグラウンド

シドニー日本人国際学校

校長 井川信也さん

人学級の教室は、同じ学年は隣り合わせに配置し、校内で国際交流できる環境にしています。

——生徒の国籍は？

日本人学級は3分の2が日本人駐在員のお子さんたち。あとの3分の1はオーストラリア在住者で、例えばお母さんが日本人、お父さんがオーストラリア人のような、日系家庭の児童です。国際学級は日本人が約3割、日系人が半分。あとの2割は日本のバックグラウンドを全くもたない現地在住者で、最近是中国系の児童も増えています。場合によっては、日本人学級と国際学級との間の転籍もできます。

——学校全体ではどういった点に力を入れていますか？

1つは語学です。日本人学級では、毎日1時間の現地スタッフによる英語の授業が、国際学級では1日1時間の日本語指導を行っています。

もう1つは読書。タブレットで本が読める時代ですが、あえて紙での読書にこだわっています。日英各1万冊以上をそろえた図書館があり、小学部では週に1回図書授業があります。

——日本人学級と国際学級の授業は全く別々に行われているのですか？

図工、体育、コーディング(プログラミング)、音楽の4つは、一緒に授業を受ける「ミックスレッスン」。日・英の両言語で指導を行ってい